

<報道発表資料>

.....
カテゴリー：お知らせ

令和6年5月2日

サクラの外來害虫クビアカによる被害拡大 「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2023」結果発表

環境科学国際センターでは、サクラを枯らす外來害虫“クビアカツヤカミキリ”からサクラを守るため、「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を平成30年度から実施しています。

この調査は、県内の公園や川岸、学校などに植えられたサクラを中心に、県民の皆様から成虫の発生や被害状況を報告していただき、実態を把握するものです。

このたび、令和5年度の調査結果がまとまり、昨年度に比べさらに被害が拡大していることが明らかになりました。

被害拡大防止のため、県は引き続き被害実態を把握し、早期防除の取組を推進していきます。県民の皆様には、情報の提供についてより一層の御協力を改めてお願いします。

●「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2023」の結果概要

1 調査方法

クビアカツヤカミキリの成虫が発生し、被害も多くなる6月から、県内の公園や川岸、学校などに植えられたサクラを対象に、クビアカツヤカミキリの成虫(参考写真1)の発生やフラス(木くずとフンが混ざったもの)(参考写真2)の排出状況など被害の有無を調査し、スマートフォンや電子メールなどで環境科学国際センターに報告していただきました。なお、被害がないことについても報告していただきました。

2 被害市町村数と被害箇所数

県内 53 市町の 1,203 か所から報告があり、そのうち、**36 市町の 832 か所から被害(成虫のみの確認を含む)の報告がありました**(表1)。

令和4年度と比較して、令和5年度の被害発生市町村数は 22 市町村から 36 市町に、被害箇所数は 598 か所から 832 か所に増加しました(表1)。令和5年度に新たに被害

報告があった自治体は、川越市、秩父市、春日部市、桶川市、北本市、蓮田市、白岡市、伊奈町、越生町、嵐山町、川島町、鳩山町及び宮代町の7市6町でした。また、令和5年度の被害箇所数は令和4年度の約1.4倍に増加し、被害地域の拡大も続いています(図1)。

今後は、被害地域での防除を継続するとともに、周辺地域への被害の拡大を防止するため、飛翔して拡散する個体の防除対策が必要です。

表1 被害発生市町村と被害箇所数

市町村	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
熊谷市	45	69	106	130	167	153
行田市	30	46	99	68	53	60
加須市	2	5	18	12	78	30
羽生市	10	16	66	69	47	29
深谷市	11	7	57	10	10	55
草加市	23	44	48	69	83	90
越谷市	4	4	5	7	15	16
八潮市	3	6	8	14	16	22
鴻巣市	—	3	14	15	4	54
三郷市	—	1	2	7	6	9
吉川市	—	3	2	2	14	12
寄居町	—	2	2	10	22	14
本庄市	—	—	1	5	35	97
久喜市	—	—	1	4	2	28
幸手市	—	—	1*	3	1	2
上里町	—	—	1	—	—	7
東松山市	—	—	—	9	11	24
吉見町	—	—	—	4	—	12
美里町	—	—	—	6	4	3
滑川町	—	—	—	—	1*	37
小川町	—	—	—	—	4	10
長瀬町	—	—	—	—	19	8
東秩父村	—	—	—	—	5	—
神川町	—	—	—	—	1*	3
川越市	—	—	—	—	—	1*
秩父市	—	—	—	—	—	1*
春日部市	—	—	—	—	—	1
桶川市	—	—	—	—	—	2
北本市	—	—	—	—	—	12
蓮田市	—	—	—	—	—	3
白岡市	—	—	—	—	—	3
伊奈町	—	—	—	—	—	3
越生町	—	—	—	—	—	4
嵐山町	—	—	—	—	—	20
川島町	—	—	—	—	—	1
鳩山町	—	—	—	—	—	4
宮代町	—	—	—	—	—	2
被害発生市町村数計	8	12	16	18	22	36
被害箇所数計	128	206	431	444	598	832

*、成虫のみの確認

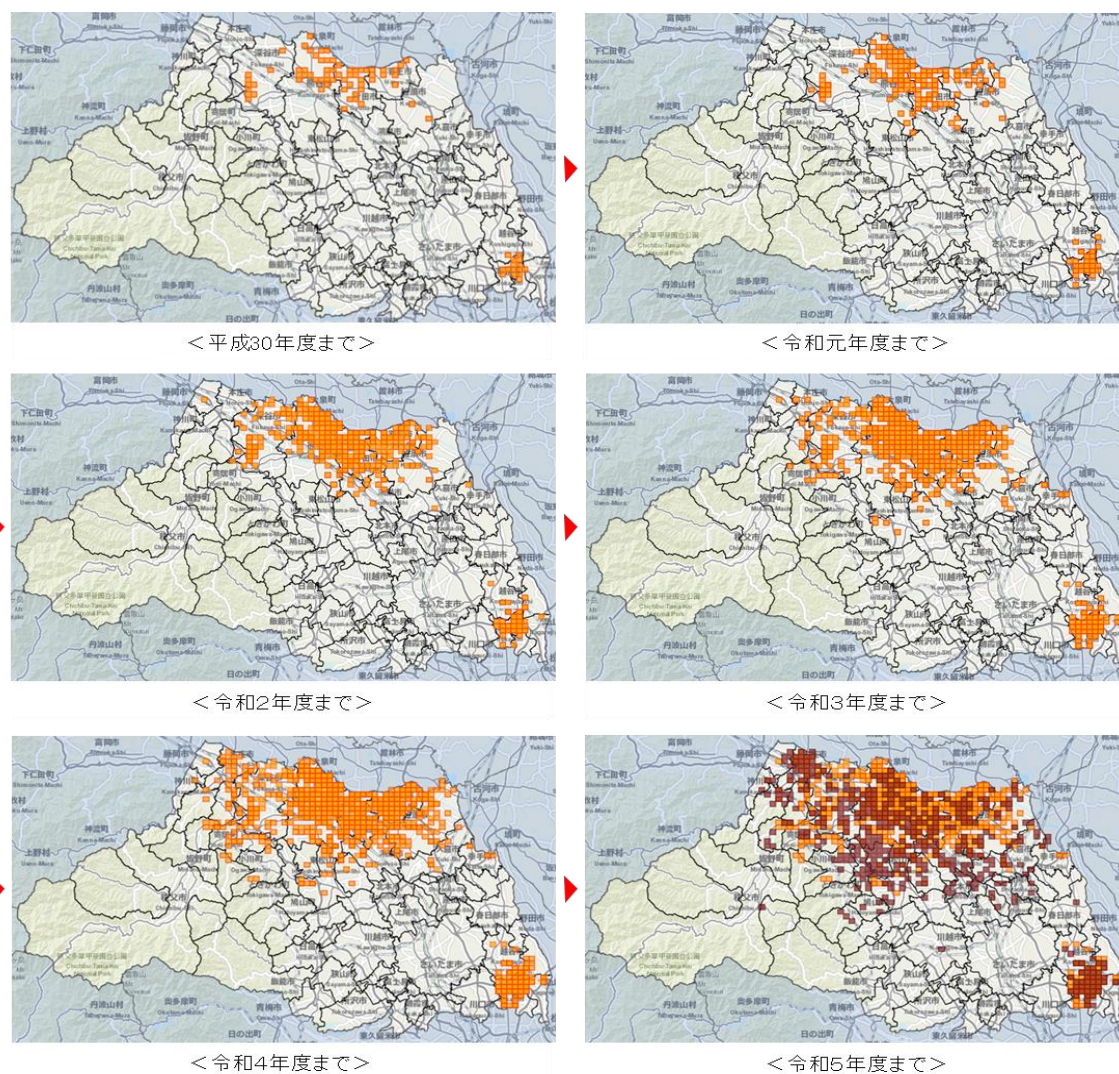


図1 県内のクビアカツヤカミキリによる被害地域の変遷

色付きのメッシュは、被害(成虫のみの確認を含む)が発生した地点を含む3次メッシュ(1km×1km)
赤のメッシュは令和5年度に被害が発生した地点を含む3次メッシュ

● 今後のクビアカツヤカミキリ対策

- 1) 効果的な防除対策を進めるため、県民参加による「クビアカツヤカミキリ発見大調査」を継続し、市町村とともに、県内全域における被害状況の把握に努めます。
- 2) 対策技術の普及啓発を図るため、被害防止に関する研修会や出前講座を積極的に開催します。
- 3) 防除や被害木の伐採・処分を実施する市町村に対し、財政支援を行います。

・補助金制度に関する問い合わせ

環境部みどり自然課 野生生物担当 TEL: 048-830-3143

<参考>

● クビアカツヤカミキリ調査地点マップ

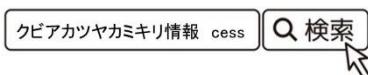
下記 URL の「クビアカツヤカミキリ情報」サイトにある「クビアカツヤカミキリ調査地点マップ」で、県内の被害発生地域に関する情報が確認できます。

● クビアカツヤカミキリについて

- * 平成 30 年1月に、特定外来生物に指定された。
- * 自然分布は、中国、モンゴル、朝鮮半島、ベトナムなど。
- * 幼虫は、サクラなどのバラ科樹木の生木を食べ、木の内部で2～3年かけて成長し、蛹(さなぎ)になる。
- * 幼虫の活動期は春から秋で、この間にフラスを排出する。
- * 蛹は6月から8月に成虫となり、樹体の成虫脱出孔から樹体外に出る。
- * メスの成虫は木の樹皮の割れ目に産卵し、卵を 1,000 個近く産むこともある。
- * 成虫の寿命は、野外では1か月程度で、成虫で越冬はしない。

環境科学国際センターでは、クビアカツヤカミキリに関する基礎的な情報を、下記 URL の「クビアカツヤカミキリ情報」サイトから発信しています。このサイトから、クビアカツヤカミキリの「資料用画像」や「被害防止の手引」も入手できます。

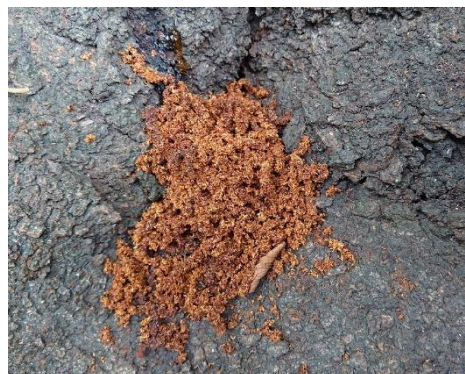
URL: <https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>



● 写真



参考写真1
クビアカツヤカミキリ(オス)



参考写真2
サクラの根元に堆積したフラス